

浜田養護学校いじめ防止基本方針(未然防止・早期発見・対応について)

R7 年度版

- ・学校いじめ防止基本方針
- ・いじめを許さない姿勢

いじめ防止対策委員会

- ・保護者、関係機関との連携
- ・積極的な認知

構成員

☆校長、★教頭、★生徒指導主事、★各学部主事、高等部各学年主任、人権教育主任、養護教諭、寄宿舎指導委員長、pTA会長、※スクールカウンセラー

※必要時 ★緊急時は初動対応協議 ☆方針決定

未然防止

- 信頼関係
- 授業作りや集団作り
- 保護者、関係機関との連携
- 主体的な活動の充実
- 人権意識の醸成

学校いじめ防止基本方針作成・見直し
年間指導計画の作成
校内研修の企画
調査結果、報告等の情報整理
各学部の状況確認
いじめが疑われる案件の事実確認・判断

早期発見

- 各種アンケート
- 相談体制の確立
- 情報共有

いじめの認知
(重大事態を含む)

教育委員会

～対応協議のポイント～

指導の根拠を明確に
生徒でなく事象が悪いという姿勢
ともに考えようとする姿勢
取り上げるのは今回該当する事象のみ
保護者へ伝える内容の整理

いじめ防止対策委員会

聞き取る内容の確認
聞き取った事実の確認と共有
対応協議

緊急・迅速(標準手順)

校長へ報告
教頭(生徒指導主事)
校長の指導助言

学部もしくは職員全体への提案及び協議

支援内容の修正

当該生徒への支援

関係機関(必要時)相談
教育委員会、警察等

特別指導・懲戒

生徒への説明(必要時)

保護者連絡
(連絡の範囲、内容確認)

支援経過及び保護者連絡について情報共有と確認
(支援内容の改善、生徒の様子等保護者への連絡について検討)